

## 今後の子育て支援に関する検討について

### 1 7月1日開催「岡山市総合政策審議会保健・福祉部会」の内容

#### (1) 議題

良質で持続的な保育サービスが提供できる体制づくり

(公立保育園と私立保育園の役割)

#### (2) 主な意見

保育関係者からのヒアリング

##### ア 公立保育園園長

- ・ 公立保育園では、障害児保育を引き続き充実させていきたい。現在は拠点園7園で、また一般園でも多数の児童を受け入れており、今後も培われた専門性とノウハウを生かしながら、保育の質を高めたい。
- ・ 最近は保護者に対して支援が必要なケースが増えている。公立保育園では、自らの子育てなど経験豊かな保育士が相談に乗ることができる。
- ・ 児童虐待など地域ぐるみで問題解決にあたっていかなければならないケースがあるが、公立保育園では地域の各種団体との連携を深めている。

##### イ 公立保育園保育士

- ・ 虐待、ネグレクト、DVなどにより、心に傷を負っている子供がおり、また、世代間で子育ての伝承がなく、子育て不安に陥っている保護者が多い。親の育ちも視野に入れた子育て支援が必要である。
- ・ さまざまな障害をもつ子供が増えてきており、今後もっともっと障害児保育を充実させていきたい。
- ・ 公立保育園では昨年、「子育て・保育の実態、意識調査」を行った。園長、支援相談担当保育士を中心に公民館職員、保健師、愛育委員、主任児童委員と連携をして、地域のネットワークがつけられるのではないかと。

##### ウ 公立保育園給食調理員

- ・ 食物アレルギーを持つ児童が年々増加しており、対応マニュアルを作成し、調理に工夫を凝らしている。
- ・ 離乳食や安心な食材を安全に調理するため実習や研修を重ねており、また家

庭の負担を軽減し、炊き立てのご飯を食べられるよう完全給食を目指している。

- ・ 知識や経験を保護者に伝え、保育園と地域が一体となって、一人一人の子供の育ちにかかわっていくことが求められている。

## エ 私立保育園園長

- ・ 岡山市の単独市費だけを見ると、公立は民間の倍使われている。ほとんどが人件費だが、単に費用が安く上がるというだけでは、公立を民間に移譲していいよという話にはならない。子供にはもうちょっとお金をかけていただきたい。
- ・ 民間では親のニーズを把握して、何が大事だろうかということのを先に考える。延長保育、乳児保育、休日保育についてもいち早くやることができる。
- ・ 障害児保育などお金が大変かかる部分については、民間はなかなかできない。公立でやっていただいた方がいい。
- ・ 民間が主体でやっていけばよいが、そんなにたくさん保育園を増やさなくても、多少の定員オーバーが認められているので、その範囲内で何とかやっていけるのではないか。ただ、お金の問題はもうちょっとかけていただかないとうまくいかない。

## 部会委員からの意見

- ・ 重装備であたらないといけないような障害児保育というのは、人的な配置や、システムや園全体の研修というあたりで、公立の役割だと思う。また、虐待や保護者の精神障害など、専門性が必要なケースの対応は、公的機関である公立保育園の役割ではないか。
- ・ 障害児保育は、現状は予算がつかないのが難しいということかもしれないが、あるべき姿は予算をつけてでも、官であれ民であれ、地域の中で子供たちがともに暮らせるような仕組みをつくらなければならない。しかし、経費とか費用という部分は無視できないので、これからどうしていったらよいのか検討していかないといけない。
- ・ 公立は親の支援を強調されたが、今の予算では民間はなかなか難しいのではないか。現状では、公立と民間のすみわけ的なものは必要という感じはするが、少子化という大きな問題に対しては、国そのものがもう少し子育てに対しての支援をしていただくことが必要ではないか。